

平成 30 年 12 月 26 日

報道各位

新潟開港 150 周年記念事業実行委員会事務局

サッポロビール株式会社 新潟開港 150 周年記念商品の 売上げの一部を同記念事業実行委員会へ贈呈

「みなとまち新潟」文化の発展を応援！

12 月 20 日、サッポロビール株式会社は、新潟開港 150 周年を記念して発売したデザイン缶の売上げの一部を、新潟開港 150 周年記念事業実行委員会に贈呈しました。

2019 年 1 月 1 日に、新潟が世界に開かれてから 150 周年を迎えます。

サッポロビール株式会社では、新潟開港 150 周年を盛り上げようと、ロゴマークや「みなとまち新潟」のおもてなし文化の象徴「古町芸妓」、新潟税関庁舎などをデザインした「新潟開港 150 周年記念缶」を作成。ことし 6 月には「サッポロ麦とホップ」、11 月には「新潟限定ビール 風味爽快ニシテ」をこの記念缶で発売しています。

この記念缶の売上げで「みなとまち新潟」文化の発展を応援しようと、12 月 20 日、サッポロビール株式会社の浪間 進 関信越本部副本部長兼新潟統括支社長が新潟市役所を訪れ、同事業実行委員会会長の中原八一新潟市長に売上げの一部（記念缶の売上げ 1 本あたり 1 円、総額 202,392 円）を贈呈しました。





浪間副本部長は、「2種類の記念缶販売は新潟が初めて」と話し、目録を受け取った中原新潟市長は「市民のより身近なところでPRしていただくことで、開港150周年がますます浸透してきているように感じている。これからも引き続き応援をお願いしたい」とお礼の言葉を述べました。

■新潟開港150周年記念事業実行委員会とは

新潟が世界に開かれてから、2019年1月1日に150周年を迎えます。

この節目の年を新しい新潟を切り拓くスタートの機会とし、地域が一体となった取り組みを総合的に推進するため、新潟市や新潟県、地域の企業や市民団体などが一丸となった「新潟開港150周年記念事業実行委員会」を立ち上げました。「みなとまち新潟」を盛り上げるため、地域の総合力を発揮させる多彩な取り組みを展開しています。

■新潟開港150周年記念事業ロゴマーク

黄色いリボンは、灯台のサーチライトが未来を照らし、人々を導くフラッグになるとともに、ヒト、モノ、情報が集まり、「出会う」ことによって新しさが生まれ、更新される広がり表現しています。その上にNiigataや新しい=Newの「N」が浮かび上がります。水色のボーダーを組み合わせ、港らしさを演出。3本のラインは、信濃川、阿賀野川、日本海を表現しています。



<問い合わせ先>

新潟開港150周年記念事業実行委員会事務局

(新潟市2019年開港150周年推進課内)

TEL:025-226-2162(直通)

E-mail:kaiko150@city.niigata.lg.jp

URL:<http://www.nii-port.com/>